

文化・生涯学習振興と障がい者スポーツに関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
文化振興課	2019年09月04日から 2019年09月25日まで	1072	726	67%

今回は、文化振興課、障がい福祉課からのアンケートです。

県では、「新しいみえの文化振興方針」（平成26年11月策定）に基づき、「文化にふれ親しみ、創造する機会の充実」と「学びとその成果を生かす場の充実」に取り組んでいます。

今後の「新しいみえの文化振興方針」の推進にあたっての参考意見とするともに、その評価に役立てるためアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。（設問は、Q1～Q10の10問です。）

また、県では、障がい者スポーツの認知度を高めるとともに、障がい者スポーツを「する」人材の育成、「みる」機会の創出や、「支える」人材の養成・確保により、障がい者スポーツの裾野の拡大に取り組んでいます。

今後の障がい者スポーツの裾野を拡げる取組に役立てるため、皆さんの障がい者スポーツへの関心などについてアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。（設問は、Q11～Q15の5問です。）

■ Q1 これまで行ったことのある県立文化施設について

はじめに、文化振興課からお聞きします。

あなたは、県立文化施設である次の施設を訪れたことがありますか。（施設外で実施される出前講座等への参加を含みます。）訪れたことがあるものをすべて選んでください。「行ったことのある施設はない」とお答えいただいた方はQ3へお進みください。

合計	726	
三重県文化会館	455	62.7%
三重県立図書館	270	37.2%
三重県総合博物館（MieMu）	309	42.6%
三重県立美術館	297	40.9%
斎宮歴史博物館	198	27.3%
三重県生涯学習センター	137	18.9%
男女共同参画センター（フレンテみえ）	139	19.1%
行ったことのある施設はない	134	18.5%

■ Q2 県立文化施設に行った回数について

あなたは、昨年1年間で展覧会や公演、イベント等のため、県立文化施設に何回ぐらい行きましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

なお、県立文化施設とはQ1の選択肢で掲げた施設をいいます。

合計	593	
1回も行っていない	210	35.4%
1回	143	24.1%
2～5回	191	32.2%

6～9回	24	4.0%
10回以上	25	4.2%

■ Q3 県立文化施設において文化芸術にふれたり、学んだりする機会について

あなたは、県立文化施設で開催される展覧会や公演、イベント等において、優れた文化芸術（芸術性の高いもの、おもしろくて楽しいもの）にふれたり、学んだりする機会を得ることができると感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	726	
感じている	364	50.1%
感じていない	108	14.9%
わからない	254	35.0%

■ Q4 文化芸術にふれ親しむ方法について

あなたが日常生活で文化芸術にふれ親しむ方法はどれですか。もっともあてはまるものを1つ選んでください。

合計	726	
主に文化芸術の鑑賞・観覧を行っている	388	53.4%
主に文化芸術に関する活動を行っている	16	2.2%
鑑賞・観覧、活動のどちらもを行っている	61	8.4%
鑑賞・観覧、活動のどちらも行っていない	182	25.1%
わからない	79	10.9%

■ Q5 鑑賞・観覧した文化芸術のジャンルについて

昨年1年間にあなたが鑑賞・観覧した文化芸術のジャンルは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	726	
音楽	316	43.5%
美術	259	35.7%
写真	80	11.0%
演劇	89	12.3%
舞踊	17	2.3%
メディア芸術（映画、漫画、アニメーション等）	252	34.7%
伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎等）	44	6.1%
芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱等）	107	14.7%
生活文化（茶道、華道、書道等）	54	7.4%

地域の伝統的芸能や祭り	98	13.5%
歴史・文化（歴史資料、文化財等）	178	24.5%
自然（動物、植物、鉱物、化石等）	171	23.6%
その他	11	1.5%
鑑賞・観覧していない	129	17.8%

■ Q6 活動した文化芸術のジャンルについて

昨年1年間にあなたが活動した文化芸術のジャンルは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	726	
音楽	86	11.8%
美術	52	7.2%
写真	46	6.3%
演劇	14	1.9%
舞踊	4	0.6%
メディア芸術（映画、漫画、アニメーション等）	29	4.0%
伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎等）	6	0.8%
芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱等）	14	1.9%
生活文化（茶道、華道、書道等）	24	3.3%
地域の伝統的芸能や祭り	44	6.1%
地域の自然や歴史・文化の探求	53	7.3%
その他	4	0.6%
活動していない	495	68.2%

■ Q7 三重県の文化の特徴だと思うものについて

あなたが三重県の文化の特徴だと思うものはどれですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	726	
伝統的な行事や祭り、芸能、民芸などの文化を守り伝えている	365	50.3%
固有の歴史文化や古い建物、遺産などを保存・活用している	344	47.4%
食文化が豊かである	328	45.2%
本居宣長（国学者）、松尾芭蕉（俳人）、松浦武四郎（北海道の命名者）、御木本幸吉（真珠養殖）をはじめ、多くの偉人を輩出し	329	45.3%

ている		
最先端技術を用いた各種アートやメディア芸術（映画、漫画、アニメーション等）が盛んである	10	1.4%
国際的な文化交流が盛んである	18	2.5%
質の高い文化芸術を楽しむことができる	16	2.2%
その他	6	0.8%
特にない	72	9.9%

■ Q8 三重県に対する誇りや愛着について

あなたは、三重県にある全国的あるいは国際的に誇ることができる歴史的資産等（※）について、愛着を感じることができると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※「歴史的資産等」・・・伊勢神宮や熊野古道、世界から評価される偉人（俳聖「松尾芭蕉」、日本人の世界観・価値観を探究した「本居宣長」、世界で初めて真珠養殖を成功させた「御木本幸吉」、北海道の命名者「松浦武四郎」など）のほか、各地域で継承されている伝統的な芸能・祭り・行事や文化財などの歴史的な資産、地域独特の言葉遣いや衣服、食べ物、習慣などをいいます。

合計	726	
そう思う	285	39.3%
どちらかといえばそう思う	365	50.3%
どちらかといえばそう思わない	56	7.7%
そう思わない	20	2.8%

■ Q9 今後県が力を入れるべき文化施策について

あなたは、県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。

もっともあてはまるものを2つまで選んでください。

※文化交流ゾーンとは、三重県総合博物館の整備を契機として、新たに魅力あふれる「県民の学び・交流・体験の場」となるよう発展を目指す県立美術館を含めた県総合文化センター周辺地域のことで。

合計	726	
県出身者が著名なアーティストとして県内外で活躍できるような環境を整備すること	130	17.9%
多くの県民が日常的に文化にふれ親しむことができるような機会を提供すること	272	37.5%
次代を担う若い世代の創造性や感性を育むこと	149	20.5%
地域の伝統的文化が継承され、より多くの人に親しまれるようにすること	184	25.3%
文化財が適切に保存・継承されるとともに、地域において活用されるようにすること	154	21.2%
より多くの人を訪れて、さまざまな交流が生まれ、にぎわうよう、文化交流ゾーン（※）の魅力を一層高めること	99	13.6%

文化資源を活用することにより、教育・産業・観光などの魅力を一層高めること	96	13.2%
県内外の文化施設と連携することにより、県立の文化施設の魅力を一層高めること	46	6.3%
三重の文化の素晴らしさを県内外に積極的に発信すること	130	17.9%
その他	12	1.7%
わからない	33	4.5%

■ Q10 文化芸術を生かしたら良いと思う分野について

あなたは、文化芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	726	
観光	511	70.4%
まちづくり（地域の活性化）	445	61.3%
国際交流	156	21.5%
福祉	82	11.3%
教育	264	36.4%
経済・産業	137	18.9%
スポーツ・健康増進	98	13.5%
その他	2	0.3%
わからない	18	2.5%

■ Q11 障がい者スポーツへの関心度について

ここからは、障がい福祉課からお聞きします。

障がい者スポーツとは、障がいがあってもスポーツができるように障がいに応じて競技規則や実施方法を変更したり、用具等を用いて障がいを補ったりする工夫等がされたスポーツのことですが、あなたは障がい者スポーツに関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	726	
関心がある	103	14.2%
やや関心がある	289	39.8%
あまり関心がない	272	37.5%
関心がない	62	8.5%

■ Q12 障がい者スポーツに関して経験してみたいことについて

Q11で「関心がある」「やや関心がある」と答えた方にお聞きします。

あなたは、これからどのようなことを経験してみたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	392	
テレビやインターネットの動画配信等で障がい者スポーツの試合を観戦する	246	62.8%
競技場や体育館などで障がい者スポーツの試合を観戦する	139	35.5%
障がい者スポーツを支援するボランティアに参加する	57	14.5%
障がい者スポーツに参加する・競技体験に参加する	60	15.3%
その他	5	1.3%
特になし	19	4.8%
わからない	16	4.1%

■ Q13 障がい者スポーツに関心がない理由について

Q11で「あまり関心がない」「関心がない」と答えた方にお聞きします。
あなたが、障がい者スポーツに関心がない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	334	
どんな選手がいるか知らないから	107	32.0%
身近に障がい者スポーツに関わっている人がいないから	181	54.2%
競技のルールや見どころがわからないから	71	21.3%
障がい者スポーツが身近な場所で行われていないから	132	39.5%
障がい者スポーツの試合や話題について、メディアであまり取り上げられないから	55	16.5%
どんな競技があるか知らないから	74	22.2%
スポーツ自体に興味がなから	57	17.1%
その他	13	3.9%
特に理由はない	46	13.8%
わからない	8	2.4%

■ Q14 障がい者スポーツへの関心を高める取組について

あなたは、どのような取組があれば障がい者スポーツへの関心が高まると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	726	
テレビで大会が中継されること	388	53.4%
競技の見どころやルールを情報発信すること	318	43.8%

アスリートのメディアへの露出を増やすこと	241	33.2%
競技の種類などの情報を発信すること	238	32.8%
地元のアスリートを応援する仕組みがあること	243	33.5%
スター性のあるアスリートを育てていくこと	128	17.6%
アスリートのプレーを間近に見る機会があること	251	34.6%
アスリートのプロフィールなどを詳しく紹介すること	52	7.2%
講演会など、アスリートの話を直接聞ける機会があること	96	13.2%
SNS（フェイスブック、ツイッターなど）でアスリート自身が情報発信すること	55	7.6%
その他	13	1.8%
特になし	39	5.4%
わからない	31	4.3%

■ Q15 障がい者スポーツ団体や障がい者アスリートへの支援について

あなたが、障がい者スポーツ団体や障がい者アスリートへの支援としてできることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	726	
大会の観戦に行き、応援する	333	45.9%
家族や友人・知人と障がい者スポーツについて話す	211	29.1%
SNS（フェイスブック、ツイッターなど）で障がい者スポーツやアスリートの情報、観戦の感想などを発信する	113	15.6%
障がい者スポーツ団体や大会の運営支援等のボランティア	109	15.0%
障がい者アスリートを支援するボランティア（介助、手話通訳等）	52	7.2%
その他	3	0.4%
特になし	109	15.0%
わからない	124	17.1%